

第 11 回植物ウイルス病研究会のご案内

日 時： 2013 年 3 月 30 日（土） 9:30～16:10
会 場： 岐阜大学全学共通教育棟 102 番教室
参加費： 正会員 1,000 円，学生会員 500 円（講演要旨代含む）
参加申し込み： 当日会場受け付け

9:00-9:20 受け付け
9:20-9:30 開会挨拶

第 1 部 植物ウイルスの病徴の誘導

- 9:30-10:00 2 種ウイルスのシナジズムと局部干渉 竹下 稔（九州大学大学院農学研究院）
10:00-10:30 ポテックスウイルスによる全身壊死病徴の発現機構
小松 健・橋本将典・山次康幸・難波成任（東京大学大学院農学生命科学研究科）
10:30-11:00 CMV 感染によるモザイク病徴の発現メカニズム
望月知史（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科）
11:00-11:30 CMV-Y サテライト RNA による黄化誘導メカニズム
志村華子・増田 税（北海道大学大学院農学研究院）
11:30-12:00 特別講演 1 Insights into Alternanthera mosaic virus TGB3 functions: Interactions with *Nicotiana benthamiana* PSBO1 correlate with chloroplast vesiculation and veinal necrosis caused by TGB3 over expression
Lim Hyoun-Sub, College of Agriculture and Life Sciences, Chungnam National University, Korea
(昼食休憩)
13:00-13:20 特別講演 2 ICTV 第 9 次報告書での植物ウイルスの分類
大木 理（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科）

第 2 部 植物ウイルス病に対する新技術

- 13:20-13:50 数理モデルを利用した植物ウイルス生態の理解
宮下脩平（JST さきがけ・農業生物資源研究所）
13:50-14:20 人工 DNA 結合タンパク質を用いたウイルス耐病性植物の創出
世良貴史（岡山大学大学院自然科学研究科）
(休憩 10 分)
14:30-15:00 レクチン抵抗性：新規な植物ウイルス耐性システム
山次康幸・前島健作・尾関丈二・小松 健・難波成任（東京大学大学院農学生命科学研究科）
15:00-15:30 潜在性ウイルスを利用した難防除ウイルス病制御のためのワクチンウイルス開発
吉川信幸・滝 文希・加藤貴央・田村顕裕・山岸紀子・Li Chunjiang・*夏秋知英
(岩手大学農学部・*宇都宮大学農学部)
15:30-16:00 ウイルスタンパク質の機能解析に基づくイネへの強度抵抗性付与
大村敏博・清水 巧・一木珠樹・笹谷孝英・Wei Taiyun
(農研機構中央農業総合研究センター)
16:00-16:10 閉会挨拶

問い合わせ先：大阪府立大学生命環境科学研究科 大木 理
〒587-0032 堺市中区学園町 1-1 TEL/FAX 072-254-9410
E-mail: ohki@plant.osakafu-u.ac.jp